

平成 29 年度 第 1 回 新河岸川流域川づくり連絡会 議事要旨

平成 29 年 5 月 30 日（火） 清瀬市 野塩地域市民センター 会議室 2

I. 平成 28 年度第 4 回新河岸川流域川づくり連絡会議事要旨

平成 28 年度第 4 回新河岸川流域川づくり連絡会議事要旨が承認された。

II. 新河岸川流域川づくり連絡会活動協議事項

1. 前回議事の対応

しんぶん里川の発行部数を増やしてほしいという要望があったが、部数を増やすことが難しい。予算の関係もあって、荒川下流河川事務所 HP からダウンロードして活用していただくこととした。

2. 平成 29 年度新河岸川流域川づくり連絡活動について

■主な意見等

〈発表会について〉

・昨年度の交流会では、パネル作成者が近くにいないことが多く、展示パネルの詳細な内容を聞くことができなかった。今年度はパネルの配置や時間配分などを工夫して対応してほしい。

〈現地見学会について〉

事務局が提示した 3 案及び、連絡会メンバーから出された案について意見交換を行った。

・案 1（所沢市）の場合、三富で活動している方がいるため、地域の歴史を話してもらうと良い。

・案 1（所沢市）は三つの案の中で最もみどりが多く、水循環・総合治水に対する問題意識をもってもらえることが期待できるため良いと思う。

・案 2（ふじみ野市）の場合、ふじみ野市の舟運についてより深く学ぶため、船で新河岸川の主要地点について回ることを検討してほしい。

・案には記載されていないが、空堀川流域についても来年度以降検討してもらいたい。東村山では開発が進み、水循環上の課題があると思われ、実際に濁水が多く発生している。

〈勉強会テーマについて〉

・川魚を食べたことが無い人が多いため、川魚の食文化を扱って川魚について知ってもらう機会を作るのは良いと思う。

■決まったこと

・今年の発表会の日程は、参加候補校の都合を優先して調整を行い、確定したい関係者には速やかに共有する。

・開催地の選定は、案 1（所沢市）を第 1 候補とし、案 1 が難しい場合に他の案を検討する。

III. 勉強会

「身近な水質調査と新河岸川流域の水質特性」と題し、法政大学水文地理学研究室による講演が行われ、連絡会メンバーとの意見交換が行われた。

■主な意見等

・東京都で環境基準の類型指定を改定しており、空堀川については E 類型から A 類型になったため、直ちに改善しなくてはいけないと思われる。空堀川では EC が高い地点もあるため、今後の活動に影響が出ないか心配している。

→ 類型の指標には EC は含まれていない。環境基準の水質指標で悪い値が出なかったことから、A 類型に指定されたと思われる。水文地理学研究室としては、地域の皆さんがお気づきになった点を分析し、議論材料を増やしていきたいと思う。

・類型を定めるときは河川の下流部のある地点で測定した値で決めているため、上流部の水質が悪い場合でも、下流部で水質が良ければ、川全体の類型は良くなるようである。

・同じ川でも測定地点によって水質が異なる。

→ 行政も現在の類型の設定の仕方を改善する必要性を感じるべきかもしれない。

・水抜き管をとる水の水質測定の際に、EC の値がぶれてしまうのだが、どれくらいの幅は許容されるのか。

→ 1 割程度の値の差異は問題ありません。

IV. 情報交換

・8 月 1 日～4 日に日本下水道協会が主催する「下水道展 '17 東京」が東京ビッグサイトで開催される。